

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：製造業（測定器製造）

企業名：ダイヤ精機株式会社（東京都大田区）	【従業員数：25名】
クラウド実践による情報共有から生産性が向上し、強みである納期対応力を強化。	

1 経営課題

・製造現場だけではなく全ての部門において情報共有をしなければ、現場の生産性向上＝売上高増には繋がらない。クラウドサービスを使った情報管理ツールを導入し、生産性の向上を行う。

問題①社内外からの問合せに対して図面を探す時間が多く生産性が低下。

問題②部門間で情報共有ができず、作業計画が立たない、会議が多い等で生産性が低下。

問題③営業担当者間で情報共有されず、受注の波による生産のばらつきが発生。

2 クラウド実践による課題解決

・クラウド導入当初、製造業では、システム管理者を設定して運用していくのが難しく、専門用語が多く、現場の人達には受け入れられなかった。

・必要な情報を洗い直し、誰でも感覚的にどこに何を入力すれば良いか分かりやすいクラウドサービスを探した。本格導入してからは、毎日画面を見ることを習慣づけるために、リーダー達には朝昼夕と必ず確認することを義務付けた。

3 導入したクラウドサービス（導入期間：1年）

・株式会社テクノア、株式会社リスタ・プロダクツ Lista(リスタ)

4 課題解決に向けた組織運営

・経営トップとプロジェクトチームでの推進運営

5 実践事例の成果

・全部門との情報共有が出来るため、生産性が向上した。

・前年同期比べると売上は18%増、経常利益は8倍増となった。

・また、3月から行った不良の見える化により、4月に5件あったものが9月を除いて0件となっている。（8月1件発生）

問題①解決：図面は現場でタブレット端末を使い、図面を探す時間を短縮。

問題②解決：無駄な会議がなくなり、回覧板を作成する時間が無くなった。

また、情報共有によって、作業計画が明確となり生産性が向上した。

問題③解決：設計の出図のタイミングが明確になる為、営業担当間の情報と組み合わせにより、顧客との納期調整ができ、毎月の負荷が平準化した。